

介 護 計 画

令和2年は年明けから、中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症騒ぎで始まり世界中への感染拡大で世界経済の動きも止まり、経営破綻に追い込まれる企業・事業所も多く、感染者の拡大に伴う医療崩壊まで起きている状況にあります。介護現場も同様に、職員は、感染防止に細心の注意を払い施設内での感染防止対策に努めております。三密（密閉・密集・密接）・不要不急の外出をさける事を徹底し、手洗い・うがい・手指消毒と基本的行動を重視して、利用者の皆様を守っています。そんな中で高齢者介護を社会全体で支える仕組みとして開始した、介護保険制度も未曾有の介護人材難・法務リスクの多様化、迫られる大規模化・協働化への動き・・・等、社会福祉法人を取り巻く経営環境が厳しさを増しています。

一連の制度改正で、ガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化が求められ、更に地域の様々な生活・福祉課題に積極的にかかわる地域貢献への取り組みが義務付けられました。今後、地域共生社会づくりを主導していく役割までもが期待されています。このような社会の期待に応えて、利用者様を守っていくには、法人の経営環境を的確に把握し経営力の向上に努めて行く必要があります。

事業所が抱える「人材（採用・定着・育成）・リスクマネジメント」の強化を鑑み引き続き、認知症高齢者も極普通に生活をしている環境の中で、住み慣れた地域で長く暮らせる様に支援すべき努力と、その方々へ寄り添う家族や地域との関わり・在り方を検討し、限られた資源の提供に法人として、働く職場の一員として、より一層の組織経営強化とともに、求められる多様なサービス展開・今後の社会福祉法人に対する期待や取り組み、事業内容の課題について考えながら地域と密着し、介護施設の在り方を再認識してサービスの提供をすべく、今年度も下記の目標を掲げます。

1) 利用者様への接し方

< 地域密着型通所介護サービス >

小規模ながら職員の確保は万全である介護現場として、利用者様個々の多様なADL・ニーズの状況に対し即応した支援・ケアの実践をします。また他事業所、他部署との連携も怠ることなく環境整備に努めます。

地域高齢者への貢献と共生社会実現に向け関係各位との連携を強化して参ります。

< 2階・3階入所者様 >

引き続き、入所される利用者様は介護度が3以上です。状況に応じて介護2の方が入所になるケースも考えられます。継続で入所されている利用者様の介護度も高くなっていく現状の中で、新たに入所してくる利用者様への対応・多様なADL・ニーズにも状況に即応した支援・ケアを心掛け、落ち着いた暖かい雰囲気を整え、気力・体力等の低

下に常に「気配り・目配り」を心掛けながらのチェックとメリハリのある生活を送れるように配慮していきます。

認知症状の重度化に伴い、精神面と事故防止に努め、また、入所者様間でのトラブルを未然に防ぎ、落ち着いた雰囲気与生活して頂ける様に配慮するとともに、職場職員間関係各部署との連携に努めます。

2) 介護職員の心掛け

- ① ケアプランを基に介護・看護部署との連携を密に徹底した処遇の実践と個別ケアをより充実させ高めて行く
- ② 利用者様の立場に立ち、気持ちを汲み取ったケアの提供
- ③ 利用者様、そのご家族の皆様にな納得・満足をして頂けるケアの提供
- ④ 介護職員間・各部署間の専門的な連携と建設的な意見調書を基にしたケアの提供
- ⑤ 職員間の切磋琢磨・職員一人一人の自己研鑽による介護技術の向上を目指し実際の現場にて実践を展開する
- ⑥ 介護職員である以前に社会人としての常識・モラルをわきまえ、プロとして恥ずかしくない職務を心掛ける。

付 記

令和2年度は新型コロナウイルスに世界中が困惑しています。

昨年末から中国河北省武漢で発症した新型コロナウイルスが蔓延し、そこから2か月程で感染者が異常に増加、人々の動きを止められなかった分、今や世界中に感染者が増え続け、死者も増加する傾向にあります。自己管理をしっかりと行い、不要不急な外出は避け人混みには出ない事が一番だと思います。

利用者を守るのは、私達の使命です。